

「業務用陸上無線通信の高度化等に関する技術的条件」のうち、「60MHz帯デジタル同報系防災行政無線の低廉化」の報告書に対する意見と陸上無線通信委員会の考え方

◎提出件数:2件

提出者	項目	意見	考え方
株式会社JVCケンウッド	全般	<p>防災行政無線の普及促進には以下の理由により新方式を追加する事が寄与すると考え、新たに技術基準を策定することに賛成致します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 追加される新方式については、国内外で既に広く採用されている方式のため、機器のコスト低減が期待できます。 新方式を追加する事により、音声主体の構成を希望される自治体様には、事業費の低減が見込まれると思います。 	<p>本報告書（案）を支持する御意見として承ります。</p>
個人	<p>IV検討概要 第2章 60MHz帯デジタル同報系防災行政無線の低廉化 2.8 低廉化の評価 イ 導入コスト</p>	<p>[要旨]</p> <p>現在の方法では、24ページにあるようにあまり安く生産できません。60MHz帯のデジタル同報系防災行政無線の生産台数は限られています。8社が建前的に生産をできるように一社による入札でOEM方式（相手先ブランド名の製造、納入先商標による受託）を検討したらどうかと思うのです。</p> <p>無線局の免許が必要な無線局は携帯電話に比べて性能も悪いし、その割合には価格が高いということです。iPhoneなら数万円程度です。それと比べて見てください。</p> <p>今後のことを思うならば、今たくさん検討会や懇談会が総務省内で行われています。それらの内容も含めて、基幹通信課重要無線通信室内の検討だけではなく、他の検討会や懇談会の動きも見ながら、この60MHz帯のデジタル同報系防災行政無線の低廉化の話を進めていく方が、きっと良い結果が得られます。</p> <p>私が意見を述べた2013年3月からでも、いろいろ意見募集がありました。</p> <p>「NTTのメタリックケーブルの在り方」、「地域のWiMAXの臨時の利用状況評価結果」、「200MHz帯の審査基準の見直し」、「携帯電話の基地局の在り方の研究会」、「2015年の世界無線通信会議に向けた我が国の暫定意見」、「陸上無線通信委員会報告書への意見」、「80GHz帯高速通信システムの狭帯域等の導入に係る改正」、「電波ビジョン懇談会の中間報告（案）」、「イノベーション創出実現に向けた情報通信技術の在り方」、「6.5G/7.5G帯固定通信システムの在り方」等いろいろな意見の募集があり、私も意見を述べました。</p> <p>NTTの在り方も検討されているようです。</p> <p>そうした意見との整合性（原案等を含む）を考えた方がよいと思うのです。</p> <p>大分この意見とは異なる部分もあります。一度少し読んで見てください。</p> <p>この辺りと比べて、それでも60MHz帯のデジタル同報系防災行政無線が良いというならそれも良いと思います。60MHz帯は無線全体の帯域（54～70MHz）から見た</p>	<p>より簡素な変調方式とすることで、低廉化の実現が可能であることが試算されており、製造事業者においても今回の答申の趣旨に配慮し、より低廉な製品となるよう取り組んで頂くことを期待しているところです。</p>

		<p>ら大した数値ではないからです。 その代わりに、そうした動きを無視したら、これを無理に作成しても自治体の防災行政無線が全く違う方向になるかもしれません。 最終的には無線機等の値段がどうなのかというところに行きつきます。</p>	
--	--	---	--